

日本アフリカ学会第 58 回学術大会 第 2 回サーキュラー

1. 大会日程

2021 年 5 月 22 日（土）：口頭発表、ポスター発表、評議員会、総会

2021 年 5 月 23 日（日）：口頭発表、ポスター発表、公開シンポジウム

（ポスター発表は 5 月 21 日からアクセス可能になります）

2. 大会会場

オンライン（Zoom および Dropbox）

Zoom および Dropbox へのアクセス

5 月中旬に[第 58 回学術大会ウェブサイト](https://jaas2021.wixsite.com/hcu-conference)（<https://jaas2021.wixsite.com/hcu-conference>）内の「Access Information」（パスワード付ページ）に詳細を掲載しますのでご確認ください。パスワードは参加費を支払われた参加者の方に E メールでお送りさせていただきます。

3. 大会の参加申し込み

大会に参加される方は必ず事前の申し込みが必要です。参加を希望される方は、4 月 7 日（水）までにアフリカ学会にある大会ウェブサイト（<https://african-studies.jp/reg/>）から参加の申し込みを行ったのち、4 月 21 日（水）までに参加費の納入をお済ませください。

参加申し込みの締め切り：4 月 7 日（水）

参加費払い込みの締め切り：4 月 21 日（水）

- * 今回の学術大会はオンライン形式のため、当日参加は受け付けません。必ず締め切りまでに参加申し込みと参加費の支払いをお願いします。
- * 参加費を振り込んだのちに参加をキャンセルされる場合は、大会前日までに大会事務局にメールでご連絡ください。大会参加費は後日、振込手数料を差し引いて返金いたします。
- * 振込用紙は同封いたしません。振込み手数料はご負担くださいますようお願いいたします。

4. 参加費

4 月 21 日（金）までに下記の口座に納入をお願いします。なお今回の学術大会はオンラインであるため、懇親会は開催されません。

大会参加費：3,000 円（学生：1,000 円）

もみじ銀行（銀行コード 0569）店番 130 西風新都支店

口座番号 普通預金 3058974

日本アフリカ学会 第 58 回学術大会 田川 玄

ニホンアフリカガツカイダイゴジュハチカイガクジュツタイカイ タガワ ゲン

領収書が必要な方は、件名に「領収書」とご記入の上、事務局までメールにてお知らせください。大会終了後に PDF ファイルをメールでお送りしますが、手書きの領収書が必要な場合は、送付先住所とともにその旨をお伝えください。

メールアドレス：jaas58.hcu(at)gmail.com((at)を@に入れ替えてください)

件名：領収書

5. 研究発表

第2回サーキュラーでは、口頭・ポスター発表のプログラムを別紙として同封します。ただしこれは暫定版ですので、最新のプログラムは[第 58 回学術大会・ウェブサイト](https://jaas2021.wixsite.com/hcu-conference) (https://jaas2021.wixsite.com/hcu-conference) からご覧ください。

口頭発表について

口頭発表は Zoom で行います。発表時間は 15 分（発表 12 分＋質疑応答 3 分）です。発表開始後 10 分で司会が「残り 2 分です」とお伝えします。12 分経過すると「時間になりました」と司会がお伝えした上で、その後の 3 分間で質疑応答を行います。15 分経過すると発表が終了します。時間通りの進行にご協力をお願いします。

発表者は、発表用ファイル（拡張子が ppt か pptx のもの）を発表者各自が画面共有をして発表をしてください。また、正常な画像が表示されないなどのトラブルは自己責任とさせていただき、発表時間の延長などはできませんので、あらかじめご了承ください

配付資料がある方は、5 月 19 日（水）までにアップロードしてください。提出された配布資料は研究大会ウェブサイト内のパスワード付ページに研究大会終了時まで掲載されます。5 月初旬を目途に[第 58 回学術大会・ウェブサイト](https://jaas2021.wixsite.com/hcu-conference)に配布資料提出用のリンクを掲載します。ファイル名は、発表者名+発表タイトルの略称をお願いします（例：田川_エチオピア.pdf）。無事にファイルがアップロードされると自動返信メールが送信されます。発表資料のファイルサイズは 3MB までとしてください。超過している場合、事務局よりファイルサイズ削減のお願いをさせていただきます。

いったんアップロードした発表資料を差し替えることはできません。ご注意ください。また、アップロードするファイルは 1 つに限ります。複数のファイルがアップロードされた場合、最初のものだけが公開されます。

ポスター発表について

オンラインストレージサービス Dropbox のコメント機能を活用し、研究大会参加者がポスター発表にコメントをつけることができるようにします。アップロードされたポスターは、5 月 21 日（金）から 5 月 23 日（日）の 3 日間公開を予定しています。

ポスターの提出期限は、5月19日（水）です。提出期限までにファイルのアップロードがなされない場合は、発表を辞退したとみなします。

5月初旬を目途に、[第58回学術大会・ウェブサイト](#)にポスター提出用の Dropbox へのリンクを掲載します。そのリンクからファイルを PDF ファイルにてアップロードしてください。ファイル名は、発表者名+発表タイトルの略称をお願いします（例：田川_エチオピア.pdf）。無事にファイルがアップロードされると自動返信メールが送信されます。発表資料のファイルサイズは 20MB までとしてください。超過している場合、事務局よりファイルサイズ削減のお願いをさせていただきます。

いったんアップロードした発表資料を差し替えることはできません。ご注意ください。また、アップロードするファイルは 1 つに限ります。複数のファイルがアップロードされた場合、最初のものだけが公開されます。

ポスター報告へのコメント方法

アップロードされているファイルへのコメントには Dropbox のアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない方は、アカウントを作成してください。

詳細は以下の Dropbox のページをご参照ください。

＜Dropbox アカウントを作成するには＞

<https://help.dropbox.com/ja-jp/accounts-billing/create-delete/create-account>

＜Dropbox ファイルにコメントする＞

<https://help.dropbox.com/ja-jp/files-folders/share/commenting>

6. 第58回学術大会公開シンポジウム

以下の要領で公開シンポジウムを行います。参加希望者（上限 490 名・大会参加者以外は先着順）はシンポジウム参加申込フォームからお申し込みください。なお、学術大会参加者は自動的にシンポジウムに参加登録されます。

「COVID-19 パンデミックのなかのアフリカ」

日時：2021 年 5 月 23 日（日） 13:15-15:15、 Zoom を用いオンラインにて開催。

参加申込 URL（先着 490 名）：<https://forms.gle/2ybbokFxtZpuEc2v7>

申し込み期限：5 月 19 日（水）

登壇者：増田研（長崎大学）・杉下智彦（東京女子医科大学）・早川千晶（マゴソスクールを支える会）・玉井隆（東洋学園大学、アフリカ日本協議会）

概要については巻末資料をご覧ください。

7. FENICS Zoom 共催サロン :フィールドワーカーのライフイベント

本サロンは、フィールドワーカーのライフイベントと、アフリカ研究にとって重要なフィールドワークをどのように両立していけばよいか、実践例、経験から情報や問題を共有する場です。主に両立に関し考え、悩みを抱える方に向けてのお話ですが、また周り、指導教員等はどうのように考えていくべきか、立場の異なる男女の参加も期待しています。今回は子連れフィールドワークに焦点をあてます。

2021 年 5 月 23 日 (日) 15:30-17:00 Zoom オンライン

趣旨：椎野若菜（東京外国語大学アジア・アフリカ言語研究所）

話題提供：網中昭世さん（ジェトロ・アジア経済研究所）

「子ども連れてフィールドに行くこと」

お申込み：<https://forms.gle/MHpnNnXUETWdoWvd6>

（5 月 22 日の夜 10 時が締め切り）

#妊活 #妊娠 #出産 #子育て #PD と保活 #パパ友 #子連れフィールドワーク #パートナーの理解 #パートナーとの分業 #介護 #フィールドワーカーの健康

E-mail：fenicsevent(at)gmail.com((at)を@に入れ替えてください)

8. その他

2021 年度の学術大会に関する情報は、日本アフリカ学会および第 58 回学術大会のホームページ・情報サイトからご覧いただけます。学術大会に関するお問い合わせは、下記の事務局アドレスへ直接電子メールをご送信ください。なお、第 2 回サーキュラーはオンラインでのみ送付し、紙媒体の郵送していません。

お問い合わせ

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号

広島市立大学国際学部目黒研究室気付

日本アフリカ学会第 58 回学術大会事務局

E-mail：jaas58.hcu(at)gmail.com((at)を@に入れ替えてください)

「COVID-19 パンデミックのなかのアフリカ」

Sub-Saharan Africa under the COVID-19 pandemic

日時：2021 年 5 月 23 日（日） 13:15-15:15 Zoom を用いオンラインにて開催

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）では、発生が報じられた 2020 年 1 月以降、1 億人以上の感染者を出し、250 万人が死亡したとされる（2021 年 3 月 5 日時点）。当初は中国の一部の都市における風土病（エンデミック）だと思われたが、人の移動によって瞬く間に地球全域を覆いつくすパンデミックとなった。これは、2009 年の新型インフルエンザ（swine flu, N1H1 flu、死者およそ 2 万人）、2002 年から翌年にかけての SARS（感染者 8000 人、死者およそ 800 人）と比べてもそのウィルスのしぶとさ、感染のし易さ、そして社会活動へのインパクトの大きさという点で桁違いである。本シンポジウムでは、この COVID-19 パンデミックのアフリカ社会におよぼすインパクトを考えるための地均しをし、学会員が背景を共有する機会としたい。

サブサハラアフリカでは概ね 2020 年 3 月下旬頃から感染者が確認されるようになり、2021 年 3 月初頭時点で 275 万人あまりの感染者（内、南アが 150 万人）と累計 7 万人の死者を出しているが、北米やヨーロッパでの感染状況と比較すればアフリカは比較的落ち着いているようにも見える。もちろんこうした数値が正しいのか、実状を反映しているのかという疑念はあるが、感染状況だけをみれば世界的な疾病の蔓延はアフリカにはそれほど影響しなかったように見える。感染拡大の始まりがやや遅れてやってきたことが準備期間の確保につながったという見方もある。

本学会員にとっては、(1)渡航できない、いつ渡航できるようになるのか、(2)フィールドの友人知人はどうしているのか、(3)ワクチンはアフリカに行き渡るのか、(4)急成長してきたアフリカ経済を盛り返せるのか、(5)MDGs の成果や SDGs の取り組みが吹き飛んでしまわないか、(6)日本とアフリカ大陸はコロナ前提時代（=with コロナ時代）にどのように関わり合えるのか、といったあたりが関心の中心ではないだろうか。

本シンポジウムではこうした「気になること」のすべてを取り上げることはできない。さしあたり(1)グローバルヘルス時代の新興感染症対応、(2)ロックダウンと経済的インパクト、(3) 日本社会からの関わり方という 3 つの文脈から「COVID-19 パンデミックのなかのアフリカ」について状況を整理しつつ、展望を語りあいたい。杉下智彦氏（東京女子医科大学）には、新型コロナウイルスのアフリカでの感染拡大状況（あるいは「心配されたほど広がらなかった」状況）を、国際公衆衛生学の立場から紹介してもらおう。玉井隆氏（東洋学園大学、アフリカ日本協議会）は、COVID-19 に関する市民社会からのアドボカシー活動を報告する。早川千晶（マゴソスクールを支える会、ケニア在住）は、ケニアの首都ナイロビにおいて感染者が増加するなかでの学校の閉鎖、スラム居住者の失業、

食糧支援といった状況を目の当たりにした、その報告を行う。

13:15-13:20 田川玄 大会長挨拶

13:20-13:25 栗本英世 学会長挨拶

13:25-13:35 増田研（長崎大学）

「背景とシンポジウム趣旨の説明」

13:35-14:00 杉下智彦（東京女子医科大学）

「COVID-19 はなぜアフリカで広がらないのか？現状と課題」

14:00-14:25 早川千晶（マゴソスクールを支える会）

「コロナ禍におけるナイロビのスラムの状況」

14:25-14:50 玉井隆（東洋学園大学、アフリカ日本協議会）

「COVID-19 に対する医療アクセスをめぐる問題と市民社会の対応：NPO 法人アフリカ日本協議会のアドボカシー活動を中心に」

14:50-15:15 質疑応答とディスカッション

参加申込 URL : <https://forms.gle/TVZY1KA5UBJhdyvp7>

申し込み期限 : 5 月 19 日（水）

参加者の上限は 490 名です。学術大会参加者以外は先着順です。大会参加者は自動的にシンポジウムに参加登録されます。